

留 学 報 告 書

記入日:2020年4月6日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月24日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬から12月中旬 2 学期:1月中旬から5月上旬 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15,000
創立年	1908

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	3,050	約 305,000 円	
食費	2,100	約 210,000 円	
図書費	200 くらい	約 20,000 円	
学用品費	0	0円	学期の始めに大学からたくさんのノートやペンがもらえます。
携帯・インターネット費	210	約 21,000 円	T-mobile
現地交通費	0	0円	寮が大学の目の前(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	60	約 6,000 円	防寒着
医療費	0	0円	
保険費	1,600	約 160,000 円	形態:明治 6 万円、UNO10 万円
渡航旅費	2,600	約 260,000 円	
ビザ申請費	160	約 16,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	9,980	約 998,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:オマハ 経由地:シカゴ	
復路 出発地:オマハ 目的地:成田 経由地:ダラス	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:アメリカン航空 料金:160,000 円 復路 航空会社:アメリカン航空 料金:100,000 円 ∴合計:260,000 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: University village) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数:3)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学のサイト	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
快適でした。一つ後悔しているのは、ミールプランを選択していなかったことです。1 年前に戻れば、確実にミールプランを申し込んでいます。自炊の経験がない人には強く推奨します。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
在留届の情報しか得ていませんでした。とくに危険を感じることはありませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
よい。大学構内にも寮にもよい Wi-Fi あります。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
してません、クレジットカードだけで生きていけます。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
風邪薬	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
日本から Western Union を介して支払いをしてもらいました。大学のポータルサイトの手順がやさしいのでとくにトラブルはありませんでした。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 交換留学生は特に制限なく履修できます。		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Intro to US economy		アメリカ経済入門
科目設置学部・研究科	経済系	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Robert A. McLean	
授業内容	基礎的な経済学	
試験・課題など	オンライン課題と数回実施のテスト	
感想を自由記入	アメリカ経済という講義名ですが、内容は経済の入門に関するものが多いです。わたしの隣に座っていた学生はテストを重ねるにつれて点数が低下していき、どうやら落第したようです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Globalization of Business Enterprise		グローバルビジネス
科目設置学部・研究科	ビジネス系	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Phani Tej Adidam	
授業内容	グローバルビジネスについて	
試験・課題など	試験は数回、課題はインタビューや国の GDP 訳グラフの作製などユニークなものが多いです。	
感想を自由記入	先生がインド人でときどきインドとアメリカのビジネス文化の違いなどが聞けておもしろかったです。インド英語でたまになにを言っているのかよくわかりませんでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to American Government		アメリカ政治入門	
科目設置学部・研究科	政治学系		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Paul Landow		
授業内容	アメリカ政治入門		
試験・課題など	数回のテストと新聞リフレクションペーパー		
感想を自由記入	学期当初、先生は“It is extremely difficult to fail this class.”と言っていたのをよく覚えていますが。しかし、アメリカの政治についてまったく予備知識を持ち合わせていなかったわたしにとって、授業はまったく理解できず、大変な思いをしました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mandarin Chinese I		中国語	
科目設置学部・研究科	言語系		
履修期間	秋学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Sherry Ma		
授業内容	中国語		
試験・課題など	クイズとテスト		
感想を自由記入	英語で多言語を勉強するのは楽しそうだし、いい機会だろうと考え履修しました。アメリカ人とは違い、日本人は漢字を多く知っているの、学びやすかったです。履修人数が少ないのでクラスメートとも仲良くなりました。中国出身の先生なので、先生の英語が聞き取りづらくないを言っているのかよくわからず、中国語をしゃべっているのか英語をしゃべっているのかよくわからないこともありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mandarin Chinese II		中国語	
科目設置学部・研究科	言語系		
履修期間	春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に125分が2回		
担当教授	Sherry Ma		
授業内容	中国語		
試験・課題など	テストとクイズ		
感想を自由記入	上記同様		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Police and society		警察と社会	
科目設置学部・研究科	犯罪学		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Mary Newman		
授業内容	アメリカの警察機構		
試験・課題など	数回のレポート提出と中間期末テスト		
感想を自由記入	アメリカの警察機構という日本では知ることができない内容の講義で非常におもしろかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Geography		人類地質学	
科目設置学部・研究科	地質学		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Caleb Tate		
授業内容	人類と土地がどのように結びついて文化が形成されたかについて		
試験・課題など	数回のテスト		
感想を自由記入	日本のことが紹介されることもあったので、客観的に(アメリカ人の視点から)日本の風土や地理的性格を知ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Women's and Gender Studies in the social and behavioral sciences		女性と社会的性別者概論	
科目設置学部・研究科	女性学		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Lori Young		
授業内容	女性の権利問題とLGBTQの社会的課題について		
試験・課題など	数回の試験		
感想を自由記入	日本では未発達の学問なので、新鮮でした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

2018年 1月～3月	
4月～7月	国際日本学部入学、TOEFL の対策講義履修
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	協定留学可否発表
2019年 1月～3月	寮の決定
4月～7月	ビザの発行、寮のルームメイトマッチング
8月～9月	アメリカ入国、秋学期開始
10月～12月	
2020年 1月～3月	帰国、日本でオンライン受講
4月～7月	5月留学修了
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この報告書では留学を5月までとしていますが、実際には3月の下旬に早期帰国しました。コロナウイルスの影響で、大学の施設が最終的に全部閉鎖され、授業はオンラインに移りました。この報告書を作成している時点ではオンラインの講義を継続していますが、もう気分的にも実質的にもこの留学は終了したようなものです。

このかなりイレギュラーな情勢下でアメリカに交換留学して経験したことをこれから留学を志すみなさんに共有したいと思います。

みなさんに第一に知っておいてほしいことは、この交換留学はすべてにおいて自己判断、自己責任によるものということです。留学先大学に入願する際には、入学手続き、寮の決定、ビザの発給などを自分で行わなければなりません。明治がなんとかしれるだろうとなにもしないしていると、留学がなくなります。これらの手続きが凄くめんどくさいのはわかりますが、それを怠るともっとめんどくさいこととなります。少し神経を尖らせて手続きを進めるのがいいと強く思います。

コロナウイルスがアメリカに拡がり始めたのは、留学2学期目の丁度中間の時期でした。このウイルスがアメリカを丸ごと飲み込んだのは一瞬のことで、とてつもなく早いスピードでネブラスカ州にも感染者が現れてきました。1週間の春休みが始まる前の週、急遽大学の構内閉鎖、授業のオンライン移行がけっして、留学生の間では安全を考えて早期帰国・一時帰国しようとする人もいました。その時点では、寮には学期が終わるまで住むことができるといわていたのですが、他大学では留学生含む学生を寮から無理やり追い出すということもあったらしいので不安は日に日に募っていました。このような状況で、みなさんは明治大学にこれからどうすればいいのか相談したいと考えるでしょう。残念ながら明治大学は留学をしている学生にはそういったサポートは一切してくれません。帰国するべきか否か、自己の判断に委ねられます。はっきりいって、明治大学は留学にはとても向いていない大学だと思います。明治大学が交換留学を実施している以上、学生の安全の責任とサポートは大学が負っているはずですが、あのような世界が大混乱している状況で、大学が外国に留学している本学生に自己で判断しろというのは大変無理難題だと思います。同じ交換留学を行っている東洋大学では、保護者に留学している学生にどう要請するか、サポートするかという旨のメールを送っていたそうです。明治大学はこのようなメールを保護者に送ることはありませんでした。学生にたいしては、自己判断でがんばってくださいという内容のないメールを送ってくるだけでした。いま思い出だけでもとても腹が立ちます。さらに、明治大学はこのような通達を送ってきました。“留学期間中に帰国をして本学に復学の申請をした場合は、その時点で、留学先大学は退学したものとみなします”(原文ママ) つまり安全のために帰国をして明治に復学すると留学先大学は退学ですよということです。あまりにもひどくありませんか。留学生に対する仕打ちがひどすぎます。学生をサポートしましろうとする気がまったくありません。この有事の下で、柔軟な対応どころか留学生をほったらかしにしているのが明治大学の交換留学です。

この留学が最悪だったということは絶対にありません。人生の中で最も刺激的で、長年望んだ環境で暮らすことができ最高でした。留学先大学の環境も素晴らしく、コロナウイルスへの対応も迅速でわかりやすくなって良い大学なんだろうと心から思いました。あの生活が非日常となってしまった今、日本での生活の物足りなさを日々感じています。明治大学から留学するのは全くもって勧めませんが、ネブラスカ大学オマハに留学するのはとても強くお勧めします！